

土木交通委員会説明資料

目 次

	頁
1 駅のエレベーター整備	1
2 駅のエスカレーターの歩行に伴う負傷件数 及び乗り方に関するご意見	3

令和2年3月13日

交 通 局

1 駅のエレベーター整備

(1) 進捗状況

区分	対象	進捗
乗換用	改札内でエレベーターにより乗換えができない駅	供用開始予定 名古屋駅：元年度 栄 駅：2年度 今池 駅：2年度
地上用	地上へのエレベーターが1つしかない交差駅のうち、多くの利用者が向かう方面にエレベーターがない駅	着手予定 伏見 駅：2年度 御器所 駅：2年度 本山 駅：5年度まで
	地上へのエレベーターが1つしかない駅	基礎調査：2年度 利用実態調査：3年度以降 整備方針策定：5年度まで

(2) 今後の整備方針策定に当たっての調査

区分	主な内容
基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> ホームから各出入口までの移動距離及び高低差 駅周辺の福祉施設、大規模集客施設等の立地状況
利用実態調査	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、車いす利用者の数 出入口ごとの利用者数 既存エレベーターを利用された方が向かう方面

(3) 地上へのエレベーター1基当たりの整備期間及び整備費用

整備期間	3～4年
整備費用	2～5億円

(注) 1 工事の規模や支障物の有無などによって変動するため、標準的な整備期間及び整備費用を示しています。

2 整備期間は、設計に着手してから供用開始するまでの期間を示しています。

(4) 事業費の財源内訳

(単位 %)

国庫補助金	25.7
一般会計補助金	28.6
一般会計出資金	20.0
企業債	25.7

2 駅のエスカレーターの歩行に伴う負傷件数 及び乗り方に関するご意見

(1) 負傷件数（平成29年度以降）

（単位 件）

他の利用者の歩行による 緊急停止に伴う負傷	3
歩行中の転倒による負傷	2

(2) 乗り方に関するご意見

ア 件数

（単位 件）

29年度	30年度	元年度
33	42	58

（注） 令和元年度は、令和2年1月末までの件数です。

イ 主なご意見の内容

- ・もっと利用客にエスカレーターのマナー啓発をして欲しい。
- ・右側を歩く人がいて危ないので、注意して欲しい。
- ・右側に立ち止まって乗っていたら、前に進むように注意された。
- ・エスカレーターで他の人にぶつかられて転びそうになり、怖い思いをした。